

「家庭学習MGC」実践例

重富中学校

○ 家庭学習の基本的な考え方

- ① 自主性・主体性の確立
- ② 学習習慣の定着
- ③ 効果的な学習方法の習得
- ④ 保護者の関わり方
【具体的な取組】

①について

*自分で決める：誰かに言われてやるのではなく、自分の目標ややるべきことを自分で決めて実行する。

②について

*「まず始める」：やる気は待っていても出てこないため、「まずは5分だけ机に向かう」「教科書を開く」など、行動から入る。

③について

* 中学生の集中力は一般的に50分程度と言われるため、時間を区切って集中し、適度な休憩を挟むなど、メリハリをつけて取り組む。

④について

* 承認と励まし：小さな成果でも具体的に認め、褒めることをお願いする。



○ MGCの取組

【中学3年生 重富中のMGC】

「進路を実現するために、勉強に取り組んだ家庭学習」

- 定期テストの10日前から、マイゴールチャレンジを記入した学習計画表を作成する。
→担任、副担で見届けと評価を行う。
- 毎日、提出しているフォーサイト手帳に、一週間のマイゴールチャレンジを記入する。
→担任、副担で見届けと評価を行う。
- 授業で分からなかった問題を解いたり、さらに難しい問題に挑戦したりする。
→生徒の取組を各教科担任が確認し、コメントや声をかける。
- 教科書やノートを読み返して、授業で学んだことを、まずは何も見ずに覚えている言葉などを書く。その後、教科書等を見て、今日学んだことを「宅習ノート」にまとめる。
→担任、副担で見届けと評価を行う。